



祝 創刊200号

県連だより「匠」200号の発刊にあたって

会長 松田 昇

日頃より、組合員の皆様には県連諸活動にご理解、ご協力をいただいておりますことを紙面ではありますが厚くお礼申し上げます。

さて、私たちの機関誌である県連だより「匠」は、令和元年という新しい時代の幕開けの年に、今回の発行で200号の節目を迎えることとなり、二重の喜びを感じているところです。この県連だよりは昭和38年ごろ創刊、平成8年の106号からは「匠」と命名し新たなスタートを切ったと聞いており、およそ半世紀の長きに渡り県連の歩みを紙面に刻んできました。過去の県連だよりを見ますと、諸先輩方の写真や記事が数多く掲載され懐かしい思いで一杯になります。また、当時の県連を取り巻く環境や、県連がどのような方向に向かおうとしていたのか紙面を通じて伺い知ることができます。まさに県連の歴史書と言っても過言ではありません。

この「匠」が長きに渡り継続してこられたのも、諸先輩役員、広報委員、記事を投稿して下さった読者組合員のご尽力とご協力の賜物と心から感謝申し上げます。

今日、パソコンやスマホなどのSNSの急速な発達により、欲しい情報が速く簡単に手に入る情報化時代となっておりますが、一方で自分たちの組織の手作り情報は希薄な状況となっているように思えます。このような中ですが、私たちのオンリーな情報源の一つとして、今後も県連だより「匠」をご愛読いただき、300号、そして400号と継続していくことを切望し200号記念の言葉といたします。

富山県建築組合連合会だより



No.200
令和元年
10月10日

発行所 一般社団法人 富山県建築組合連合会
事務所 富山市西荒屋25-4
☎076-428-8255
発行責任者 松田 昇
編集責任者 広報委員会

令和元年度 県下一斉住宅キャンペーン

「大工さんに出会う日」で地域住民とのふれあい活動を展開

「大工さんに出会う日」 募金結果について

13会場で**43,925円**の募金をいただきました。
このお金は、富山県善意銀行に贈呈し、「恵まれない子供」「交通遺児」「災害で被災された方々」の支援に使われます。



9月24日、富山県善意銀行長原常務に募金を手渡す梧桐青年部議長

お盆休み最終日にあたる8月18日(日)、県下13会場が恒例の「大工さんに出会う日」が開催され、多くの地域住民とのふれあい活動が展開された。
各会場は、たくさん家族連れで大賑わい。用意していたトンカチ教室の材料が品切れになる会場もあり、この活動がいかに地域の方々に定着した催しとなっているかが伺えた。
また各会場では、毎年ミニ家具作成など工夫を凝らしているが、呼び出し音が大きく聞こえるスマートフォン（滑川会場加積支部）やお賽銭箱風の貯金箱（黒部支部）などアイデア溢れるものもあり、子供達はものづくりの楽しさと喜びにあふれていた。
なお当日は、松田会長はじめ副会長、理事、青年部議長10名が呉東と呉西に分かれて各会場を回り、汗だくで対応している組合員を激励した。



朝日会場
五又路
クロスファイブ

自分のイスだと力が入ります

入善会場
入善コスモ21

電気のいらないエコなおもちゃ

黒部会場
メルシー黒部
ショッピングセンター

また各会場では、毎年ミニ家具作成など工夫を凝らしているが、呼び出し音が大きく聞こえるスマートフォン（滑川会場加積支部）やお賽銭箱風の貯金箱（黒部支部）などアイデア溢れるものもあり、子供達はものづくりの楽しさと喜びにあふれていた。

魚津会場
魚津サンプラザ

暑い日は水鉄砲が最高

毎年恒例 魚津訓練校のミニハウス販売してますよ!

加積会場
滑川ショッピング
センターエール

音が大きくなるよ

お父さんも喜ぶ携帯置き

上市会場
ガイナシティ
マックスバリュ上市店

包丁研ぎコーナーも大忙し

▲開店早々ボクが一番だよ!

立山会場
オレンジパーク
ふなはし

▼トンカチ教室や金魚すくいと楽しいっばいの日

富山会場
富山市ファミリーパーク
自然体験センター

▲ボクでもカッコイイ本立てできるかな

射水会場
太閤山ランド
こどもみらい館

受付の練習です

砺波会場
スーパーセンター
シマヤ砺波店

▲用意した材料はあっという間になくなりました

福野会場
ショッピング
ア・ミュー

汗だくの子供大工さん

高岡会場
おとぎの森公園
こどもの家

▲開店と同時に子供達で大賑わい

水見会場
プラファ
ショッピングセンター

今日の親睦会どこでやるの？

若き建築職人をアピール

県連青年部が第2回「富山の職人まつり」を開催



県青年部協議会（以下青年部）は、富山で働く若き建築職人を広く県民にアピールするため、昨年に引き続きリノベーション協会富山とのコラボのもと、第2回目となる「富山の職人まつり」を9月1日（日）大和富山店横グラウンドプラザにおいて開催した。当日は天候に恵まれたこともあり、開幕より大勢の来場者で賑わった（主催者推定来場者数2,000人）。

会場は、当青年部、瓦、左官、建築士の各青年部がそれぞれ工夫をこらした体験コーナー、リノベーション協議会のリノベーションパネル展示コーナー、協賛メーカー各社の住設機器展示等のコーナーで構成されていた。とりわけ当青年部の体験コーナーでは、前年の鉋削りに加え、木製バックの組立体験が行われ、終日途切れることがないほどの人気で多くの親子が参加し、汗だくになって対応している青年部員の姿が印象的であった。また、ステージイベントとして前年同様に地協青年部対抗大工さんリレーが行われた。多くの声援を受け、4地協すべてが完成して「令」「和」「元」「年」と出揃った際には、更なる拍手が沸き起こり、会場は大きな盛り上がりを見せた。

選会が、「終了まで居られ

全国の若き大工が集い技を競い合う

第35回全国青年技能競技大会が石川で開催

富山県連からは黒川祥宏君が出場

9月21日（土）～23日（月）の3日間、お隣の県の石川県産業展示館において、第35回全建総連主催全国青年技能競技大会が開催された。今年も全国から38県連80名（うち女性4名）のエントリーがあり、競技当日の22日には各県より応援者が駆けつけ、広い会場ではあつたが熱気と競技大会ならではの緊張感に包まれた。

課題は、四方転び踏み台を製図から加工組み立てまで6時間の持ち時間で高い精度と出来栄を競うもの。当県連から参加の黒川君は、松田県連会長、根塚副会長、

職場の上司や先輩が見守る中、これまでの練習の成果を如何なく発揮した。順調に行程をすすめて時間内に課題が完成した時には、応援者から拍手が沸き上がった。

翌23日は大会表彰が行われ、残念ながら上位30位までの入賞は果たせなかったものの、開催までの5ヶ月間、自分を追い込んでの練習や全国の若き大工職人との交流など、通常



▲競技終了後ホッとした表情 ▲真剣に取り組む黒川君

お知らせ

令和元年度 技能検定受検案内

●建築大工の部 1・2・3級

受付期間:令和元年10月7日(月)～10月18日(金)

実技試験:令和2年1月を予定 ※試験日時および会場は検定申請者に直接通知

学科試験:令和2年2月9日(日)午前 ※会場は受検者に直接通知

合格発表:令和2年3月13日(金)

※瓦、配管、型枠、鉄筋等の技能検定については、富山県能力開発協会ホームページでご確認ください。

※2・3級の受検者で平成31年4月1日現在35歳未満の方は、実技試験手数料が減額されます。詳しくは、富山県能力開発協会へお問い合わせください。

※1・2級技能士合格者は、富山県連資格取得報奨金制度の対象として報奨金が支給されます(要申請)。なお、建築大工以外の職種も対象となります。詳しくは県連ホームページでご確認ください。

富山県耐震改修事業者リストへの掲載について

富山県では、住まいの耐震化を検討している方からの「どこに頼んでよいかわからない」という問い合わせにこたえるため、耐震改修工事を実施できる事業者を掲載した「富山県耐震改修事業者リスト」を作成し、公表します。

掲載希望の事業者は、「富山県耐震改修事業者リスト 掲載申請書」をダウンロードし、建築住宅課まで提出してください。詳しくはホームページをご覧ください。

富山県土木部建築住宅課 http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1507

インタビュー 棟梁に聴く

親方から受け継いだ技やデザインが私の誇り

高岡地協 高岡東部支部 勘坂 保さん(87歳)



ことではいずれ家を出て独立しないといけないこともあって、好きだった大工仕事を職にしようとして、中学卒業後、高岡市二上の森建設へ大工見習いとして入社した。

Q どんな修業時代だったのか?

A 入社して2年目の昭和25年、ジェーン台風が日本に上陸し、大きな被害をもたらした。地元の上射水神社の鳥居も倒壊し、建て直すことになった際、まだ右も左もわからない私に、親方は墨付けを任せてくれた。弟子入りしたばかりの私のことも一人前の大工として扱ってのことだが、なかなか剛胆な親方だったと思う。3年目になると、本家の家の建て替えを任せられ、1年がかりで自分一人で建てた。これが初めて手がけた住宅建築だった。その後30歳まで森建設で修行した後、独立。昭和38年、現在の地で勘坂工務店を設立した。それからは年間2～3棟のペースで住宅を建ててきた。

「ない」などの声を受け、今年はいつでも抽選が楽しめるガラポン抽選会に変更された。賞が出ることに鐘が鳴らされ、会場の賑わいをより一層盛り上げていた。

このように、第2回「富山の職人まつり」も成功裡に終了したが、梧桐青年部議長は「今年は、プロ芸人を呼ぶなど派手な演出もなく、それぞれの団体の日頃の取り組みなどをブースやステージで披露し、来場者がより参加しやすい体験型のイベントとした。正直、多くの来場があるのか心配であった。本日このように多くの来場者のもとイベントを終えることができたのも、各支部の役員の方々の理解と協力、そして支部青年部員の積極的な行動があったのもものと感謝したい」と語り、イベントを締め括った。

Q 大工の道を志したのはいつから?

A 大工とは無縁の農家の三男坊として生まれたが、子供の頃から大工仕事を見るのが好きだった。学校帰りによく近所の大工の家に寄っては仕事の様子を見たり、夏休みに家にある薪を加工してミニチュアハウスを作ったりした。三男坊という

Q 家を建てる時のこだわりは?

A 宮大工だった親方は、一般住宅にも宮づくりの技や工法を取り入れていた。親方から受け継いだ、「一見何でもないように見えて、ちょっと変わったデザインを取り入れる」というアイデアは私の誇り。他の弟子達は興味を示さなかったが、私はこの親方譲りのデザインに常にこだわって、どんな住宅建築にも取り入れてきた。自分が手がけた住宅が今でもちゃんと当時のまま残っているのも、こうしたこだわりが表れた家だからこそと自負している。

Q 最後に、これからの若い世代に一言。

A 修業時代、親方は最初から私に厚生年金を掛けてくれた。



▲小学生当時作ったミニチュアハウス。隅木の長さに苦労した思い出の作品で、今でも大切に保管されている。



▲M邸(高岡市守山)



▲宝教寺(高岡市)の釣鐘堂。あらかじめ作業所で上下別々に組み上げておいたものを現地に運び、クレーンで持ち上げ組み合わせた。

建青協 通信



新川地協 魚津支部 野崎 圭吾

魚津地域建築組合の野崎です。2019年度から青年部役員を務めています。

今年度の「大工さんに出会う日」のイベントでは、子どもたちに喜んでもらえるよう青年部全員でアイデアを出した結果、竹製の水鉄砲を作ることができました。どれだけのことができたか不安でしたが、いざ当日になってみると、大成功。大人はなるべく手を出さずに、できるだけ子どもたち自身でやっても

伝統工法体験学習会レポート 木の持つ多様性とやまの豪農邸宅の建築美を視察



内山邸庭園にて

立山山麓森林組合研修室にて

7月24日(水)梅雨明けの猛暑の中、体験学習が開催され、訓練生、指導員、青年部員、県連役員など31名が参加した。まず最初に訪れたのは、立山

山麓森林組合。県木「タテヤマスギ」などの地域材を用いた建物が木のぬくもりのある施設として親しまれ、原木の集荷・販売のほか、「森を育て、木を活かす」取り組みを積極的にしている。下田加工場では、間伐材の有効利用策として小径丸棒加工による建築資材製造、木材防腐剤処理による耐久性の高い木材の加工製造、またテーブル・ベンチ・遊具・看板等の注文製造を行っており、それぞれ工程を視察した。

次に訪れたのは立山町吉峰の富山県森林研究所。スギ花粉症の被害を抑えながらスギ資源の循環を阻害しない「無花粉スギ」について説明を受けた。富山で発見された「無花粉スギ」がその後改良と開発を重ね、より優れた材質である「立山森の輝き」が誕生。現在、県の助成により栽培面積が拡大して

らったことが良かったのかもしれない。子どもたちの安全を担保した上で、自由度を最大限に活かすことが「楽しさ」に繋がったのだと思います。この「楽しさ」の経験が、何かしら彼らの将来に影響してくれれば幸いです。

8月28日(水)午後2時より県連会館において松田県連会長、担当県連役員、支部担当者、事務局職員ら34名が出席し、こくみん共済研修会が開催された。冒頭松田会長は、「今年はこのところ自然災害が少ないが、昨年の今頃を振り返ると九州北部、西日本豪雨災害が発生し、多くの犠牲者、避難者が出るなど改めて自然の力を思い知らされる状況であった。もしもの事態の備えとして組合員にあった共済をすすめてほしい」と挨拶した。その後、全労済富山支所和角支所長より今回の名称変更について「これまで全労済といえば一部の団体を対象とする共済というイメージがあったが、誰でも加入できる保険の生協的存在としてアピールするため、今回こくみん共済COPとし

こくみん共済研修会を開催



「と前置きし、こくみん共済の特徴、新商品紹介や従来共済の内容変更、継続手続き等について説明がなされ、研修を修了した。」



年に一度は火災、地震などの保障の点検を!

氷見・小矢部の住宅相談所合同視察研修会を開催



7月24日、小矢部・氷見住宅相談所交流研修会が開催され、両相談所会員22名が参加した。研修先は砺波市太郎丸の「若鶴酒造」。富山の地酒として親しまれている会社で、日本酒のほか、焼酎やウイスキーも製造している。この日は猛暑で室内はサウナ状態だったが、北陸唯一のウイスキー蒸留所や、リノベーションされた大正蔵も視察。漆喰の壁・瓦吹き屋根・煉瓦造りの煙突跡など若鶴の歴史を学んだ。最後は19種類の銘酒の試飲に会員らは呑み比べを楽しんだ。視察研修後は「料亭砺中」で懇親会が催され、相談所の活動について語り合い相互交流を深めた。

建設国保 通信

通常組合会開催

令和元年7月23日(火)午後2時より、富山県建築組合館2階大会議室において通常組合会が開催され、全ての議案が承認されました。

●議案第1号
平成30年度事業報告承認の件

●議案第2号
平成30年度事業報告承認の件

●議案第3号
平成30年度歳入歳出決算認定の件



▲堀副議長 ▲笹野議長 ▲松田会長 ▲丸田理事長

丸田理事長による開会挨拶、富山県建築組合連合会松田会長の来賓挨拶に始まり、議案第1号の組合会議長では、笹野辰雄氏(上市地域建築組合)、副議長には堀 憲三氏(新湊地域建築組合)が選任された。

議案第2号からは新議長副議長による進行のもと、平成30年度事業報告、平成30年度歳入歳出決算について事務局が説明し、質疑の後、採決が行われ全議案が承認された。

また、組合会の議事に先立ち、平成30年度の健康優良家庭表彰が行われ、最長13年の無診療者を含む32名を表彰した。

2020年度の予算確保に向けたハガキ要請行動

国保組合に対する国庫補助の現行水準確保を求めたハガキ要請行動(夏)が、今年も全国で一斉に取り組み、当国保組合に於いても7月26日に厚労省に向けて、組合員一人2枚以上の7,720枚を投函しました。

現在は、秋のハガキ要請の取組み期間中ですが、国保組合に対する補助金は予算の範囲でしか交付



要請ハガキ(夏)7,720枚 投函前のハガキ山

建設国保組合員の加入資格確認調査について

当国保組合は、国の指導により、組合員資格の適正化と公正な保険料賦課のため3年毎に「資格と職種」についての調査を行っており、今年度がその調査年として皆様が必要となる書類の提出をお願いしたところ、ご協力を賜りありがとうございました。

建設国保への加入、脱退の届けは、速やかに行ってください

組合員や家族の脱退など異動の届けについては、国民健康保険法施行規則で、社保等の加入日から14日以内に国保組合に行うよう義務付けられています。被保険者証は自動的に切り替わりません。脱退の手続きが必要ですので、

▼脱退届の提出が遅れ、3カ月を超えた場合は、保険料の返還は3カ月分のみとなりますのでご注意ください。

▼資格喪失後に国保の被保険者証が使われた場合の医療費等は返還していただきます。

●物故会員名 (令和元年7月23日～10月2日)

支部	氏名	年齢
富山	岩崎 忠司	86歳
高岡	丸山 幸一	68歳
富山	西村 長敬	80歳
黒部	佐々木 澄夫	66歳

心よりご冥福をお祈り申し上げます。以上4名

健康・体力づくりのすすめ 第2回 高血圧について

体中の血管に高い圧がかかる『高血圧』。放っておくと、脳卒中や心臓病、少しずつ人工透析に近づく慢性腎臓病(CKD)などに進行します。症状が出にくい放置しがちですが、手遅れになる前に早めの重症化予防が必要です!

- ～重症化予防のポイント～
- 糖尿病などほかの病気を治療する
 - 減塩和食の食生活を心がける
 - 禁煙する
 - 笑顔でできる程度の運動を続ける





今年も8月18日(日)、「県下一斉キャンペーン 大工さんに出会う日」が県内13カ所で開催され、9月1日(日)には富山県和横グランドプラザで「富山の職人まつり」が行われました。建青協はじめ各青年部の皆様は大変ご苦勞様でした。私も35歳ぐらいから水橋支部青年部の役職を皮切りに建青協の役職までさせていだいた者です。

県下一斉キャンペーンがまだなかった25年前、富山地協青年部では市内の障害者家庭や独居老人世帯への建具修理ボランティアなどの活動を行いました。私の担当は雨戸2枚の動きが悪いと申し込まれた方で、簡単に終わらそうだなとルンルン気分で行きました。案の定10分ほどで作業は終わり、「お婆ちゃん、終わりましたよ!」と言うと、「大工さん、実はもう

誰に頼めばいいのかわからなかったのだらうと思います。私が修理させていただいてよかったなあとも思っています。私の大工としての人生は終わりに向かっていますが、これからも大工として、近所や地域の役に立っていきたく思います。それにしてもあの父アはどうしているんでしょうかね……

青年部主催 第29回 ビーチボール大会 開催のご案内

◆開催日時 10月26日(土) 午前9時より試合開始
※参加チームは、午前8時30分まで会場に集合

◆開催場所 東富山体育館 (富山市米田16番地2)
※前年と会場が異なりますのでご注意ください。

ボランティア活動の思い出



富山地協 水橋支部 青木 修二

「あんたはほんは、どこから来られたがけ?」との問いに、また少しだけ怒った声で「水橋だちゃ!」と答えると、「水橋ちゃ、あんたはほんはいい人ばかりおられると聞いておるがすちゃ」とお婆あちゃん。この言葉に気を取り直し、戸車をもう2個交換。終わってみると古い戸車が10個になってました。最後にお婆あちゃんには「こり」とお陰様でありがとうございしました。来年もあんたはんに来てもらいたいがすちゃ」と言ってくれ、私は「富山県の大工さんはみんないい人ばかりだから、誰でも大丈夫」と答え、気持ちよく活動を終えることができました。

僕・私のお父さん

滑川市立滑川中学校2年 米田 峻太さん

●今回のお父さん 米田 修久さん

僕が小学生の時、夏休みの課題に工作があり、毎年お父さんにのこぎりやくぎの打ち方を教わりながら貯金箱を作りました。知識が豊富で、たくさん知恵を分かってやすく教えてくれたので、学校の図画工作の時間は先生から褒められることが多くありました。今ではものづくりが大好きなので、滑川市の行事である「十四歳の挑戦」では製造業の会社で職業体験をしました。忙しいお父さんですが、僕のバドミントンの試合があると、よく見に来てくれます。減らない休日でも、一緒にバドミントンをしたり、僕と遊んでくれます。そんなお父さんを、僕は尊敬しています。毎週日曜日はお父さんが料理をします。いつもより食材を奮発するので、日曜の晩ご飯が楽しみです。僕はお父さんのような何でもできる優しい人になりたいです。

クロスワードパズル

●タテのキー
①秋の夜長を、涼しげな音色で楽しませてくれます
②秋の七草の1つ。青紫の花が美しい
③剣道の技
④75日も経てばなくなるだろう…と言われてます
⑤アパート入居の際必要となります
⑥聖武天皇が国ごとに造らせました。東京や栃木に地名が残っています
⑦東の空がわずかに明るくなっていく頃
⑧フルマラソンで独走体制。金メダルは、ほぼ○○○○のものに
⑨高級旅館などにある“VIPルーム”
⑩タテ①と団子を供えてゆっくり眺めよう
⑪陰暦で11月
⑫アイデア主婦達は機能的なキッチン造りに○○○を凝らす
⑬もみじやタテ⑫などと共に、彩る秋を演出してくれます
⑭「公孫樹」と書いて
⑮“卵が腐ったような”臭いのする温泉に含まれる成分
⑯最近では要らないブランド品を持ち込むようです
⑰紅葉を表現するのに使われる色です

●ヨコのキー
①稲穂のような風貌。秋を感じさせる植物と言えはこれ
②日差しの強い日には欠かせません
③気品を感じさせる若者
④コチョコチョされると弱い場所です
⑤仕事がない!
⑥家に降った雨が伝って落ちる場所
⑦この日を境に、夜がどんどん長くなっていきます
⑧体面
⑨敬老の日・体育の日・労働感謝の日と、秋には毎月1回あります
⑩立派な建物だと、高く感じますよね
⑪寒くなってきたら、布団の下にもう1枚
⑫下半身の防寒用に
⑬ビーンズ教徒は絶対に食べない
⑭本
⑮気がかりになっていた、恐れていた事
⑯○○○○○○の名月。タテ⑩が1年で一番美しいときです

天高く、澄んだ空

解答欄 A B C D E

1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	B
11	12		13	14	
15					
16			17		
18	19	20	21	22	A
23	E	24	25		
26		27		28	
29					
		30			D

●先回の解答 トウモロコシ
●当選者 厳正な抽選の結果、次の3名の方に決定しました。
(当選者名) (敬称略)
米丘 邦浩(朝日) 小谷 洋海(伏木)
池田 祐亮(福光)

●応募方法 A~Eの文字を順番に並べてきた言葉(解答)と住所・支部名・氏名・年齢・電話番号を記入の上、下記までお送りください。FAXでも受け付けます。5名様(正解者多数の場合は抽選)に1,000円分の図書券を進呈します。解答と当選者は匠201号で発表します。

●応募締切日 2019年11月30日(土)消印有効
●送付先
〒939-8251 富山市西荒屋25-4
富山県建築組合連合会 クロスワードパズル係
FAX:076-428-8277

＜第41回＞ 県連地区選抜対抗 ソフトボール大会

決勝戦は、魚津対黒部の新川地協2チームで!
魚津チームが35年ぶりの優勝!!

日時: 8月24日(土) (昭和59年第6回大会以来)
場所: 富山市婦中町羽根ピースフル公園運動広場
天候: 晴れ時々曇り



団体賞
優勝 魚津チーム
次勝 黒部チーム
3位 富山チーム・高岡チーム

個人賞
最優秀選手賞 川岸 芳慎(魚津)
個人敢闘賞 開澤 翼(黒部) 米澤 正昭(魚津) 松井 正司(富山) 中根 昇(高岡)

▲トーナメント表

```

      優勝
      /  \
     16   4
    /  \ /  \
   1x  8x  13x  12
  /  \ /  \ /  \
 6  19  1  39x  4  13  17  5
 /  \ /  \ /  \ /  \
射 富 福 魚 小 黒 高 岩
水 山 野 津 矢 部 岡 瀬
    水 野 津 部 部 岡 瀬
  
```

シニアの会 第33回 パークゴルフ大会

日時: 9月25日(水) 1:45スタート
場所: 射水市下村パークゴルフ場
参加者: 36名 天候: 晴

スコア
優勝 松下 時雄(立山) 56
2位 中野 八郎(新湊) 57
3位 甲谷 邦男(新湊) 59

▲1位の松下氏

▲2位の中野氏(左)と3位の甲谷氏(右)